

## Q1 生物多様性に関する「2050年東京の将来像」

生物多様性に関する「2050年東京の将来像」をこちらに記入してください。

※Q1、Q2の記入欄のサイズは自由に変更して構いません。

※Q1、Q2のどちらか一方の記入だけでも構いません。

### 【記入例】

都外からの商品や原材料の調達にあたっては、持続可能なサプライチェーンによる商品が普及するなど環境負荷の低い経済活動が成立している社会になっている。

## Q2 生物多様性に関する「2050年東京の将来像」の実現に向けて進める取組

生物多様性に関する「2050年東京の将来像」の実現に向けて進める取組をこちらに記入してください。

都が提示する基本戦略ごとに記入してください。基本戦略1～3のうち、2つ又は1つの取組の記入でも構いません。（図表や写真を挿入も可）

### 【基本戦略1】 記入項目イメージ

- (1)NPO等と連携し、都内の自然地（山林、谷戸、雑木林、用水、屋敷林、河川敷、湿地など）における生物多様性の保全に取り組む。
- (2)事業所や工場の敷地における外来種対策に率先して取り組む。
- (3)事業所や工場の敷地に、在来植物などを積極的に植栽することで、昆虫や鳥など在来の生きものに適した環境を回復させる。

### 【基本戦略2】 記入項目イメージ

- (1)建築や備品購入の機会を通じて、多摩産材をはじめとする国産材の利用を拡大する。
- (2)事業所や工場の敷地に生態系に配慮した緑地を整備し、在来の生きものの生息・生育空間としてだけでなく、雨水浸透などグリーンインフラとして機能する緑地を創出する。
- (3)企業が所有する緑地を都民に開放し、都民が自然に触れる機会を創出する。

### 【基本戦略3】 記入項目イメージ

- (1)商品販売を通じて、生物多様性の価値や重要性を消費者に発信する。
- (2)NPO等と連携し、企業の緑地を活用して子供を対象とした自然体験活動を推進する。
- (3)サプライチェーンにおいて、生物多様性に対する負の影響を低減するほか、FSCやMSCなど生物多様性に配慮した環境認証商品の供給を積極的に進める。
- (3)事業活動における食品ロスの発生状況を把握し削減を図るとともに、余った食品をフードバンク等に寄付するなど、食品ロス削減につながる取組を実施する。